

関東地方の指導にあたって ～他地域との結び付きを中核とした考察

●『学習指導要領解説』の抜粋

日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、以下の(ア)から(キ)で示した考察の仕方を基にして、地域的特色をとらえさせる。「(ア)自然環境を中核とした考察」「(イ)歴史的背景を中核とした考察」「(ウ)産業を中核とした考察」「(エ)環境問題や環境保全を中核とした考察」「(オ)人口や都市・村落を中核とした考察」「(カ)生活・文化を中核とした考察」「(キ)他地域との結び付きを中核とした考察」

(キ) 他地域との結び付きを中核とした考察

地域の交通・通信網に関する特色ある事象を中核として、それを物資や人々の移動の特色や変化などと関連付け、世界や日本の他の地域との結び付きの影響を受けながら地域は変容していることなどについて考える。

●指導上の留意点

7 地方区分別でみると、関東地方の面積は全国の約 9 % に過ぎない地域であるが、人口ではおよそ 3 分の 1 にあたる 4000 万人もの人口が集中している。首都東京を擁する関東地方がもつ影響力は他の地方に比べて大きく、政治や経済・文化の中心としてその役割を果たしている。

東京は、世界有数の国際都市であると同時に超過密都市でもある。東京への「一極集中」が生み出す弊害として、東京と他の地方との格差がさまざまな面で拡大している。また、東京大都市圏のなかでも、地価の高騰や通勤ラッシュ、無秩序な都市開発など問題点をあげれば枚挙にいとまがない。そのような多様な地域のとらえ方を意識しつつ授業を展開することが大切である。また、本教材においては関東地方に関して「他地域との結び付き」を中核としているが、国内のみならず、世界とのつながりについても留意する必要がある。関東地方を舞台にどのように世界とつなげていくかという点で、教員の授業づくりの工夫が求められているといえよう。

●ワークシートの単元構成 <想定する時間数:全体で5時間>

時数	単元名	学習内容	主な学習項目	ページ
1	関東地方のあらまし	関東地方の位置と広がり 地形の特色, 異なる気候	構成する都県名, 主な自然環境	p.80
2	日本の首都 東京	首都としての機能 人口の増加	司法・立法・行政の三権の機関 一極集中と再開発, 機能の移転	p.81
3	東京大都市圏と交通網	郊外の開発とニュータウン 昼夜間人口の動き	東京大都市圏の人口分布と交通網 過密による都市問題	p.82
4	関東地方と世界の結び付き	国際都市化する東京 工業の特徴	外国人の増加と国際化 世界経済の拠点	p.83
5	関東地方のまとめ	関東地方の地域的特色と 課題	白地図上に主な地名や語句を 整理する	p.84

関東地方 ①

関東地方のあらまし

●学習のねらい●

地図帳を使って、関東地方の都県や地形を確認し、関東地方の自然環境について理解しよう。

関東地方は、東京都と群馬県・栃木県・茨城県・埼玉県・千葉県・神奈川県いばらき さいたま ちば かながわの1都6県から構成されていますが、東京との結び付きが強い山梨県やまなしを加えて首都圏けんとよぶこともあります。天気予報などでは「関東甲信越」という表現がみられますが、これは関東地方に加えて山梨県、長野県、新潟県にいがた ながのを含めた地域区分です。東京の発展とともに周辺の地域でも宅地開発が進み、東京の通勤圏およは広い範囲に及んでいます。また、東京湾岸では埋め立てによる開発が進み、工場用地としてだけでなく、みなとみらい21地区（神奈川県）や臨海副都心（東京都）、幕張新都心（千葉県）への企業の移転きぎょうもみられました。

関東地方は、利根川とその支流が形成

した日本最大の面積をもつ関東平野を中心にした地域ですが、周囲を関東山地や越後山脈えちごに囲まれています。台地の占める割合ひかくてきが比較的高く、火山灰が積もってできた関東ローム層で広くおおわれています。また、火山からなる島の伊豆諸島や小笠原諸島が太平洋に分布し、日本最南端なんたんの沖ノ島おき とりしまも東京都に含まれます。

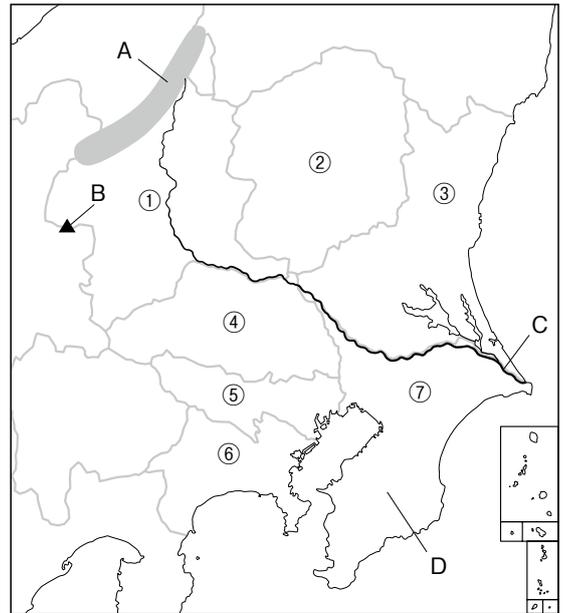
関東地方の気候は、一般に夏は気温が高く蒸し暑い日が続く一方、冬の寒さは地域によって異なり、内陸部ではより気温が低くなります。冬には乾燥した北西の季節風が吹き、山沿いの地方では「からっ風」とよばれ、このような風を防ぐために防風林が造られている場所もみられます。

課題 1 右の地図中の①～⑦の都県名・県庁所在地名を記入しよう。

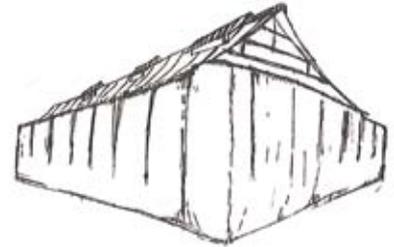
①	県	市	②	県	市
③	県	市	④	県	市
⑤		都	⑥	県	市
⑦	県	市			

課題 2 右の地図中のA山脈、B山、C川、D半島の地名を地図帳で調べてみよう。

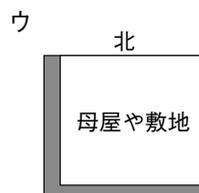
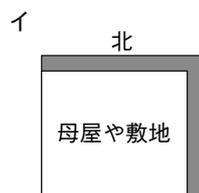
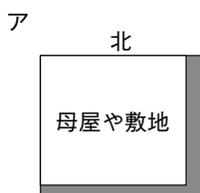
A	山脈	B	山
C	川	D	半島



課題 3 右のスケッチは、群馬県前橋市の郊外でみられる、母屋や敷地の周りに植えられた防風林をえがいたものです。また、次の文章は、この地域の季節風と防風林について書かれたものです。スケッチと文章から、防風林が植えられている位置を太い実線で示した図として正しいものを、下のア～エから1つ選び、記号を答えよう。（ ）



この地域では冬の季節風が、日本海側に雪を降らせた後に乾燥した風となって強く吹きつけることが多く、「からっ風」とよばれています。それを防ぐために、母屋や敷地のまわりに防風林が植えている家もみられます。



日本の首都 東京

●学習のねらい●

政治や経済・文化の中心
となっている首都東京の現
状について理解を深めよう。

東京は日本の政治の中心です。都心部には、政治の舞台として広く知られる永田町の国会議事堂や霞が関の中央官庁など、国を代表する数多くの機関が建ち並んでいます。また、大企業の本社や銀行なども多くあり、日本の経済の中心でもあります。さらに、多くの大学や研究機関、博物館、劇場などの文化施設や放送局、出版社などがみられ、日本の文化の中心にもなっています。

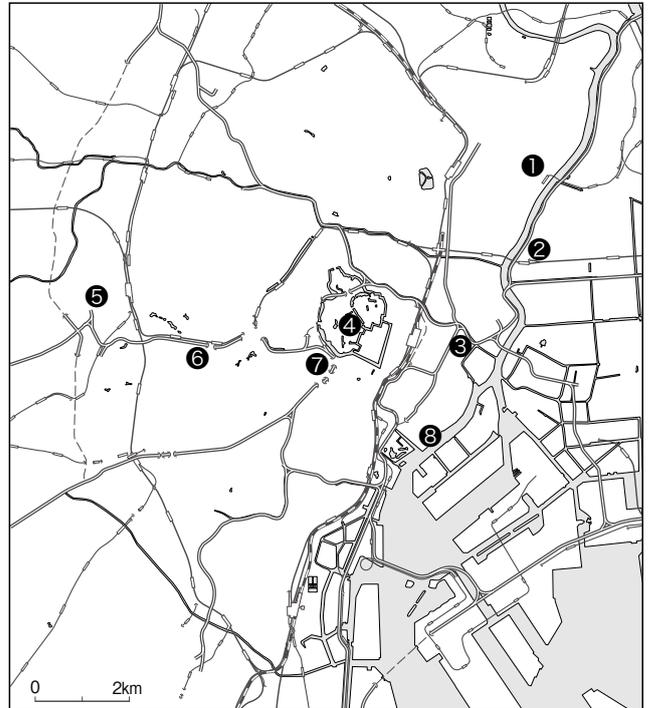
このように東京は、さまざまな点で日本の中心となっているため、鉄道、道路、航空路など交通網も、東京を中心として発達しています。

一方で、都心に集中する企業のオフィスなどを分散させるため、新宿、渋谷、池袋などで副都心の整備が進められてきました。特に1970年代以降、浄水場の跡地を中心に超高層ビルが建ち並ぶようになった新宿には、1991年に東京都庁が移転し、新都心としての整備が進められてきました。また、丸の内や六本木、東京湾の沿岸では、再開発や高層マンションの建設が進められたことにより、東京23区の人口は増加する傾向がみられます。2010年には都内の人口が1,300万人を超え、10年間でおよそ100万人増加したことになります。

課題 1 次のA～Hの所在地を、右の地図から選んで、番号を記入しよう。

- A 国会議事堂
- B 中央卸売市場 おろしうりしじょう
- C 東京都庁
- D 浅草寺 せんそうじ
- E 皇居
- F 国技館
- G 国立競技場
- H 東京証券取引所

A	B
C	D
E	F
G	H



課題 2 上の地図に見られるように、東京湾の海岸線が直線状になっている理由を考えてみよう。

課題 3 東京23区内の人口が近年増加傾向にあるのはなぜか、考えてみよう。

東京大都市圏と交通網

●学習のねらい●

ニュータウンの開発などによる都市圏の拡大により、東京周辺の地域ではどのような問題が起きているのか、考えてみよう。

東京都周辺の市街地は、周辺の神奈川県、埼玉県、千葉県などに広がっています。都心を中心とする70km圏内は、東京大都市圏とよばれます。1960年代から、慢性的な住宅不足を解消するために、東京近郊の台地や丘陵地にニュータウンの建設が進められました。多摩ニュータウンや千葉ニュータウン、港北ニュータウンはその代表です。その結果、多くの森林や農地が住宅地になり、郊外の住宅地から都心部にある会社や学校に、鉄道を利用して通勤・通学をする人が増えました。このため、都心と郊外を結ぶ鉄道の朝夕の混雑が問題となっています

が、郊外の都市どうしを環状に結ぶ交通網の整備や時間差通勤などにより、混雑を減らす対策が進められています。

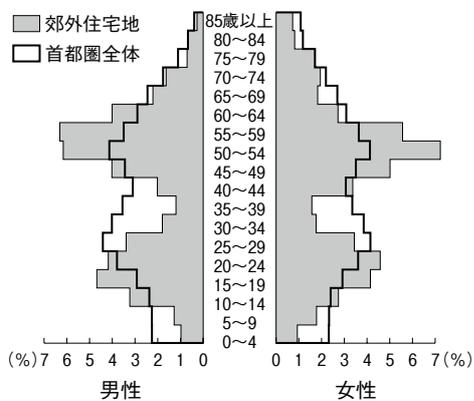
また、郊外の人口増加と都心部の人口減が進む、いわゆるドーナツ化現象にもなる問題も深刻です。郊外では、増え続けるごみへの対応は大きな課題になっており、リサイクルや分別収集の徹底とともに、ごみ回収の有料化などの対策とられています。一方、都心部やニュータウンでは、住宅の老朽化や住民の高齢化によって、地域社会の維持が難しくなっているという問題があります。

課題 1 次の①～④に当てはまる言葉をそれぞれ記入しよう。

- ① 東京の都心から半径70km圏内にある地域で、東京への通勤・通学者が多く暮らしている地域。 ()
- ② 大都市の周辺にあって、中心都市の住宅や工業の機能の一部を分担している都市。 ()
- ③ 都市の中心部の人口が減少し、郊外などの周辺の人口が増加する現象。 ()
- ④ 東京都西部の丘陵地に開発され、1971年から入居がはじまったニュータウン。 ()

課題 2 右のグラフは、首都圏全体と都心から50kmほどの丘陵地につくられた郊外住宅地を比較したものです。このグラフから郊外の住宅地の特徴としてどんなことが読みとれるか、書いてみよう。

【首都圏および郊外住宅地の人口構成(2000年)】



(「平成16年版 首都圏白書」より)

課題 3 右の図は東京周辺の昼間人口と夜間人口を示しています。この図から読みとれることを書いてみよう。

【夜間人口100人に対する昼間人口】



(2005年 国勢調査より)

関東地方 ④

関東地方と世界の結び付き

●学習のねらい●

世界との結び付きを強める東京のようすについて、理解を深めよう。

第二次世界大戦後、日本は世界有数の経済大国となり、特に各国の大使館や外国企業が集まる東京は世界との結び付きを強めてきました。世界的な物流を支えるためには、大規模な港湾や空港が必要です。東京周辺には、そのような港湾や空港がいち早く整備されてきました。

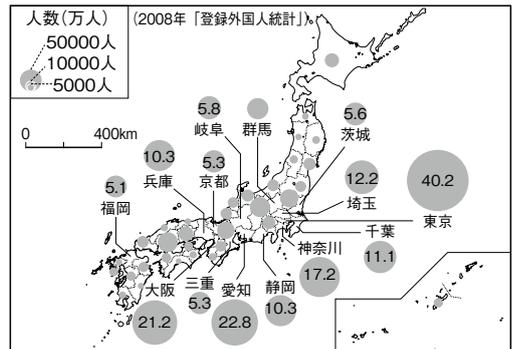
東京湾に位置する横浜港は、日本の代表的な国際貿易港として発展を続けており、現在でも自動車の輸出を中心とした貨物輸送が盛んです。また、東京湾岸では埋め立て地に鉄鋼、造船、石油化学などの工場が建設され、京浜工業地帯は長らく日本最大の工業地帯の地位を保ってきました。しかし、近年は安い賃金の労働力を求めて海外に工場を移すことで地域の産業が衰退する、いわゆる「産業の空洞化」が深刻化しており、京浜工業地

帯の工業生産額は年々減ってきています。

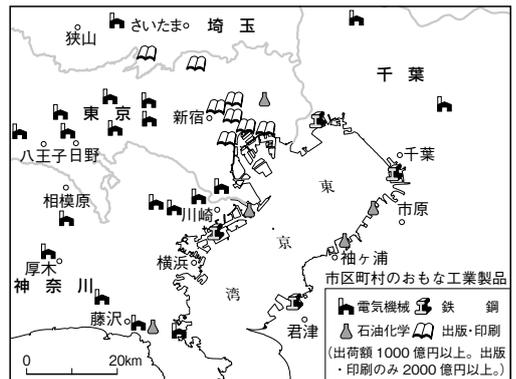
また、「空の玄関」として東京国際（羽田）空港が利用されてきましたが、1978年に成田国際空港が開港すると、国際線の発着は成田が中心となり、日本最大の輸出・輸入額を誇る貿易港となりました。しかし、東京の都心から60kmほど離れた成田に対して、都心に近い羽田をハブ空港（国内や世界各地へ向かう航空路線が集まる国際空港）としての機能を強化する動きもみられます。

また、経済の面でも、東京はニューヨークやロンドンとならぶ世界的な経済の拠点です。金融や貿易の面で、世界各地との情報交換や取引をリアルタイムで行う「24時間眠らない」都市になっています。

課題 1 右の地図は都道府県別の外国人登録者数を示しています。この地図から読みとれることを書いてみよう。



課題 2 右の地図は関東地方の工業の分布（2001年）を示しています。鉄鋼業（金属工業）や石油化学工業（化学工業）はどんなところに立地していますか。また、その理由について考えてみよう。



課題 3 右の表は京浜、中京、阪神の3つの工業地帯について、それぞれの工業地帯の工業生産額の変化と、2006年の工業生産額の内訳をまとめたものです。京浜工業地帯に当てはまるものをア～ウ、a～cのなかから選び、それぞれ記号で答えよう。

【工業生産額の変化】

	1980年（全国比）	1990年（全国比）	2006年（全国比）
ア	37.6兆円（17.5%）	51.6兆円（15.8%）	30.9兆円（9.7%）
イ	30.3兆円（14.1%）	40.6兆円（12.4%）	31.4兆円（9.9%）
ウ	25.1兆円（11.7%）	44.5兆円（13.6%）	54.7兆円（17.3%）

【2006年の工業生産額の内訳】

	金属	機械	化学	食料品	その他	合計
a	10.1%	67.7%	6.1%	4.3%	11.8%	100.0%
b	8.8%	49.4%	17.3%	8.4%	16.1%	100.0%
c	20.7%	37.8%	15.9%	9.5%	16.1%	100.0%

〔日本国勢図会2009／10年版〕より

関東地方 ⑤

関東地方の まとめ

●学習のねらい●

これまでの学習をふりかえり、関東地方の特徴を地図で確認しながら、関東地方の全体像をつかもう。

関東地方について、世界や日本の他の地域との結び付きを中心にして学習を進めてきました。ここでは、東京を中心とした関東地方のようすを整理してみましょう。

東京は日本の首都です。都心にある霞が関には官庁街があり、永田町周辺には国会議事堂、首相官邸、最高裁判所が位置しています。丸の内から大手町にかけては大企業の本社が集中しています。また、都心の各所に放送局や出版社、新聞社が集まり、東京は日本の政治、経済、文化の中心としてのはたらきをもっています。

東京の都心から70km圏内は、3,000万人をこえる人口が集まっているため、東京大都市圏とよばれています。東京都の

人口は昼と夜で大きく変化します。近郊の衛星都市やニュータウンに暮らす人々が、鉄道網を利用して都心部に通勤・通学をしています。そのため、朝夕の通勤電車のラッシュが激しく、さまざまな過密の問題を引き起こしています。

東京・横浜を中心とする京浜工業地帯はかつて日本最大の生産額を誇る工業地帯でしたが、近年は安い賃金の労働力を求めて海外に工場を移す企業も多くなり、京浜工業地帯の地位は低下しつつあります。日本最大の貿易港である成田国際空港と、日本の海上輸送の中心となっている東京港・横浜港と合わせて、関東地方は世界各地との結び付きが強くなっています。

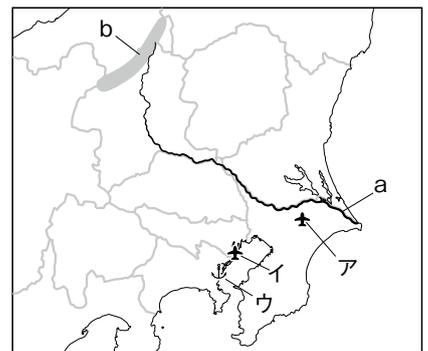
課題 1 右の地図を見ながら、以下の作業をしてみよう。

① 地図中の a 川、 b 山脈の名称を答えよう。

a	川	b	山脈
---	---	---	----

② 地図中のア～ウの空港、港湾の名称を答えよう。

ア	イ	ウ
---	---	---



課題 2 今まで学習してきたキーワードについて、ワークシートで確認しながら答えよう。

- ① 関東地方の台地に広がる、火山灰が降り積もってできた赤土の層。
- ② 「赤城おろし」「秩父おろし」など関東地方で冬によくみられる北西の風。
- ③ 東京都内の渋谷、池袋など都心について中心となっている地域。
- ④ 東京の都心を中心に半径約70km圏内にある地域。
- ⑤ 多摩、千葉、港北など大都市の周辺に造成された大規模な住宅地。
- ⑥ 都市の中心部の人口が減少し、郊外などの周辺部の人口が増加する現象。
- ⑦ 大都市の周辺にあって、中心都市の住宅や工業などの機能の一部になる都市。
- ⑧ 東京・川崎・横浜など東京湾の西岸の一带を中心とする工業地帯。

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧

課題 3 関東地方がかかえている問題点としてどんなことがあげられますか。また、その問題点に対する解決策としてあなたが考えたことを書いてみよう。
